

宮崎日新聞 に掲載された 記事・作文・習字

合唱や演奏 息ぴったり

串間 全小中校が音楽会
H29.11.14(火)

第45回串間市小・中学校音楽会は9日、市文化会館であった。同市内全11校の児童生徒約400人が出演。保護者らを前に、息の合った合唱や吹奏楽、和太鼓演奏などを披露した。



込めて歌います」とあいさつ。「花は咲く」を合唱し、伸びやかな歌声を会場に響かせた。

また金谷小全校児童28人はリコーダーや鍵盤ハーモニカを使って映画主題歌の「前前世」を合奏、会場を盛り上げた。本城小3、4年生20人による和太鼓や串間中吹奏楽部の演奏などもあった。

練習や披露の合奏を市音楽会に合わせた児童が合奏した様子

最後は同市出身のシンガー・ソングライター・浜崎奈津子さんが作詞作曲した「海と大地」を参加者全員で合唱し締めくくった。

音楽会は市小・中学校音楽部会（会長・矢野浩子本城小校長）主催で毎年11月に開催している。

（前田潤一郎）

日南のじいじ、ばあば、もうすぐ会いに行くから、待っててね〜！

H.29.11.28 宮

佐久間さん 詩部門特選

串間 神戶雄一 詩碑祭で表彰

串間市出身の詩人神戶雄一（1902〜54年）の功績をたたえる第34回神戶雄一詩碑祭（串間市文化協会主催）は19日、同市文化会館であった。詩、短歌、俳句コンクールがあり、市内小中学校の児童生徒から287作品が寄せられた。詩の部門で串間中1年、佐久間啓吾さん（12）が特選に選ばれた。

詩碑祭には入選した児童生徒や保護者ら約40人が出席。同協会の山内学会長は「一本を読み、自分で考え、手でものを書くことは情緒、思考を深める大切なこと。受賞を機にこれからも勉強、スポーツに頑張ってほしい」と述べた。



神戶雄一詩碑祭コンクールに入賞した児童生徒たち

神戶雄一は塩町（現有明地区）生まれ。20歳で出版した「空と木橋の秋」で注目され、中央詩壇で活躍。小

説家としても知られる。日向日日新聞（現宮崎日日新聞）の文化部長に招かれて1944（昭和19）年に帰郷し、地方文化の向上に尽力した。ほかの入賞者は次の通り。（敬称略）

- 【詩】優秀賞 武田渉夢（大東小5年） 中畑光媛（同） 河野一愛（串間中1年）▽佳作 神村颯志（福島小1年） 小城海七（有明小1年） 富原書斗（都井小2年） 坂ノ上天吾（同3年） 日高漢平（本城小4年） 山口茉莉彩（大平小4年） 河野昭道（大東小5年） 比嘉琉之介（本城小5年） 鬼塚莉子（有明小6年）
- 【短歌】佳作 山口茉莉彩（大平小4年） 中嶋優結（市小5年） 野辺天志（秋山小6年） 山口彩華（串間中1年） 金川麻里亜（同2年） 松下晃樹（同）
- 【俳句】佳作 山下季子（秋山小1年） 松田裕想（金谷小2年） 松田萌々華（同3年） 代口璃希（本城小3年） 吉川安（市小3年） 中山優花（同5年） 濱田輝羽（有明小6年）

（前田潤一郎）